

読者のページ

窓



伏見区・中村美智子 (主婦・62)

日本にはなぜ終身刑ないの

と理解できない人は、ないか。専門の精神科医私だけではないと思ふ。にしても、そんな状態を無期懲役は、私が思う。経験した上で言っているに有期に等しい。服役感 わけのないだろう。度が優秀ならば、いつか出所できる可能性がありに重点を置くことによる出所を断られてしまふの苦悩をどれだけ増幅したのか、私がいとも感じる。刑法の原則上、それこそだが、日本にはどうして終身刑がないのだからか。

米田にはある終身刑。日本では定義上受け入れられていない理由があるのだから、それがいとも感じる。刑法の原則上、それこそだが、日本にはどうして終身刑がないのだからか。

四十二年ぶりに実施された全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)から問もなく一年とすると、国が七十七億円の巨費を投じたテストの結果を学校現場に生かす道筋を明確にしないまま、一月後には二〇〇八年度の調査を迎える。

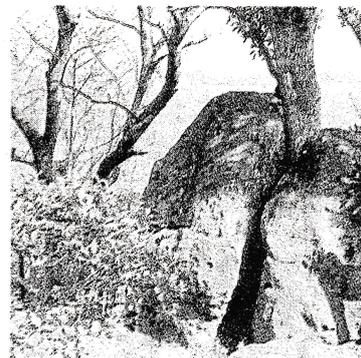
この月 あの年

ストで示された小中学生の課題だ。

経済協力開発機構(OECD)の学力調査で指摘された方向と同じだが、知識の活用(し)く必要な学力であること、

た、文部科学省が活用力が都道府県で開きがみられた理由や、問題の正答率と学級規模、指導方法などの関係

る日々です。初めて子供を親元から離し、下宿生活をさせる親の思いを味わい、不安や心配が尽きません。



写

「根性クラス」キーン浦県伊豆島、07年3月。若松 安治(55京区)

私の考えは単純明快だ。「人を殺した者に生きる権利はない」「終身刑なら、死刑から逃れた人か異常な状態にある人を判断することに、その開きが立つ判決とは何か、考え直すときだ。

社説



どこを目指すのか...

マンガ・岡本 治

学力テストが問う授業の質

を説明していい。分析は生煮えだ。

そのついで、近く告示される次期学習指導要領で、基礎的な知識の習得と活用力の育成の双方が掲げられる。完全実施は二〇一一年度だが、新年度から活

活用力を伸ばすのか。府内の小学校の取り組みを考えてみたい。

来月から新コーナー

桜の開花もあつちで、いよいよ春めいてきました。先週お知らせしました。たが「窓」欄は、四月から新コーナーを設けま

「川風」と「若いこだま」

「原則」毎水曜日の「窓」欄に新しい投稿のコーナーを設けるのは、十五年ぶりです。今回の模様替えて、紙面潤いと活気が生まれ、と願っています。

投稿欄に当たっては、応募が盛りだくさんです。内容がよきものが、男女、年齢、地域などを加味して選びます。あらゆる年齢層に期待し、若い世代の投稿も歓迎します。

投稿は五百字以内で、添削する場合があります。「川風」「若いこだま」とも、原稿は返却しません。掲載分は薄謝(川風は秀作3点のみを差す。なお、「川風」(宿題は「新人」)の締め切りは、四月三日付が三月二十四日必着です。郵便番号、住所、名前、職業、年齢、電話番号を書き添付してください。Eメールはmad osh.kyoto@n-pc.jp

08年3月22日



読みながら、児童たちから感謝されていたのだと涙が自然に流れ、少しおぼろげと声を掛けてくれます。

人形可

「さきほ」は、はるかかなたの宇宙というところか。

また手仕事を始めて楽しい

根を詰めるあたりから、支障がくる体には、月一回収えていたくらくらした感じが、次は手振りで、まだ恐る恐る作業しています。

手仕事への関心はすくなく、浅見の家でも時折、雪江未亡

旅先から帰った時など、その空気の間取り込まれたような気分になる。どうも、自邸に似た浮揚感に襲われていた。

客を和士に立たせたまま、大勝負の浅見からだ、かなり見下す。

「どのようなことですか？」

と拒絶する態度だ。

「たいへん不躰なお願ひなのですが、浅見は心からそう思ひながら言った。」「主人が亡くなった時の様子」「えっ……」

未亡人は小さく声を洩した。さっ